



きふね

目指す子ども像

- <き> きまりを守る子ども
- <ふ> 振り返り、よく考える子ども
- <ね> 粘り強くがんばる子ども

学校経営の重点についてお知らせします。

本年度の学校経営の重点についてお知らせします。

本校の子どもたちが安心してみんなと仲良く過ごせるようにするとともに、しっかりと学力も伸びるような環境をつくりたいと考えています。

そこで、「仲間」「尊敬」「感謝」「貢献」の4つのキーワードを大切にしていきます。

何かをやり遂げようという共通の目標があるとき、友達は「仲間」になります。友達を「仲間」と思える感覚を育てていきます。本年度は特に、ここに重点を置きたいと思っています。

この仲間を大切にしようと思う心が「尊敬」です。「人を人として大切にできる人権感覚」だとも考えています。人を大切にしようとするからこそ、礼儀や言葉遣いなどの態度が変わってくると思います。

「貢献」は、「仲間のために何か役立てることはないかな」と考え、実行することです。人の力になれることが幸福のもとであるとも言われています。

「感謝」は人のしてくれたことに対して、素直に「ありがとう」の気持ちができることです。できるだけ幅広く、多くの感謝が感じられることを目指します。(これを「猛烈な感謝」と呼びます)

この4つのキーワードの循環がうまくいっているとき、子どもたちは心の中に、「この仲間の中においていいんだ。」「自分は役に立っているんだ」という感覚を得ることができます。この安心感(共同体感覚)こそ、子どもたちの幸せそのものであると考えています。

このような集団ができれば、そこにいじめは起こらないでしょう。また、互いに助け合い、学び合うことで学力も向上していくと考えています。

6年生はすでに、「仲間」「感謝」「尊敬」「貢献」をテーマとして、日記を書いています。

これらを見つけたり、感じたりすることができる力は、筋肉と似ています。見つけようとすればするほど、感じ取る力が強くなるのです。

望ましい人間関係を築き、豊かな人生を送るうえでも、とても大切な取組だと考えています。この重点については、学年の発達段階に応じて繰り返し指導を重ねていきます。

一方、この仲間の感覚は、「家族」でも同じことが言えます。ご家庭の中でも「尊敬」「感謝」「貢献」を大切にいただければ、子ども達はさらに学んでいけると思っています。どうぞご協力をお願いいたします。

